

## オープンキャンパスを終えて

2015年6月14日(日)、8月1日(土)、8月2日(日)のオープンキャンパスで当研究室の展示を行いました。今年度は市販の“プラズマボール”、大気圧でプラズマを照射できる“プラズマジェット”、液晶ディスプレイの原理がわかる“液晶セル”を展示しました。合計1000名以上の見学者に恵まれました。

プラズマボールを用いて放電のメカニズム(プラズマとは何ぞや)を説明し、プラズマジェットを用いて“生の”プラズマに触れてもらいました。加えて、液晶関連の展示として液晶ディスプレイの原理の説明から、液晶ディスプレイで核となる偏光板の理解、液晶セルに交流電圧をかけ稼働させ表示の変化を確認してもらいました。

高校生に自分たちの研究や勉強している内容をパネルや展示物を使って説明する機会は無いため、理解してもらうのに苦労しましたが、たくさんの人たちが真剣に自分の説明を聞いてくれたのでとても嬉しかったです。もうすぐ社会人となる今この時期に、たくさんの初対面の人に自分たちの研究内容を説明するという経験が出来たことは貴重な経験でした。



研究室展示



プラズマジェットに触れてみると



質問会



液晶の説明



プラズマボール



このプラズマは触れても平気です

研究室展示の雰囲気

加えて、当研究室では電子工作体験教室も行いました。①レインボーホテルちゃん回路、②3連LED回路、③金属はどこだ？回路、④オルゴール回路、⑤New ピッカピカのLEDの5つの回路から1つを選択し、製作してもらいました（中には①～⑤全て作製された方もいました）。電子工作の基礎となるハンダ付けを体験しながら電子回路の仕組みを理解してもらいました。合計400名程度の参加者になりました。

電子工作体験教室を通して、自分の知っていることを相手に教えることは大変でしたが、充実感を得られました。開始当初は人が少なく、やることはありませんでしたが徐々に人が増えていき、それに伴い人に説明する機会が回ってきました。最初に説明したときはうまく説明できず、先生たちに途中から説明させてしまいましたが、その後はできるだけ一人で説明しようと努力しました。

各作業を説明するプリントはありましたが、説明する際には自分の言葉にしないとうまく伝わりません。また、相手の経験などを理解しないと適切な指導ができないことから教えることの奥深さを実感しました。人によってはハンダ付けのデモが必要になりました。

工作物完成時に参加された皆さんに感動していただき、皆さんに火傷などのケガもなく私達も充実した3日間を過ごすことができました。今回は“**行列ができる**”電子工作教室となり盛況で終了できました。



全体の雰囲気



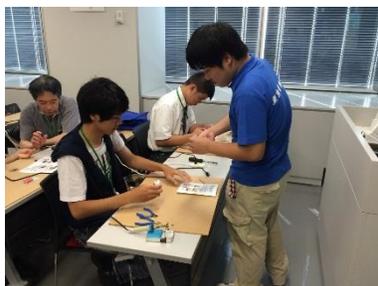
なぜか去年のスタッフも



混んできました



整理整頓は基本です



最初は説明も緊張しました  
電子工作体験教室の風景 1



最後は笑顔で対応できます



マンツーマン指導



本コースの1年生も指導します



出身高校の後輩にも指導



会場外にも



行列ができました  
電子工作体験教室の風景2



女性にも電子工作は人気です

他にも3Dプリンタで作製した工作物の配布、授業で行う電子工作の展示、電子光情報コースの学生の1週間の学生生活例の展示にも参加しました。



受付周辺



ガイダンスの風景



展示会全体の風景



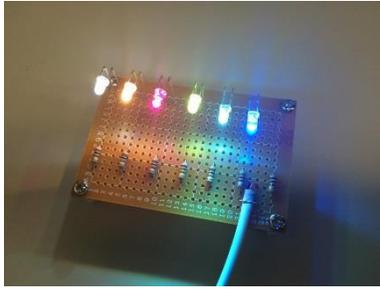
研究室展示も混んでいます



電大生の1週間を説明  
オープンキャンパス全体の風景1



笑顔は基本です



電子光情報コースの展示



3Dプリンタ展示



金めっき3Dプリンタ配布物  
TDU：東京電機大学  
EPI：電子光情報



授業工作物（磁気浮上回路）



工作物の原理を説明中  
オープンキャンパス全体の風景2



電子光情報コースの“看板娘”

展示、電子工作の説明以外にも、“東京電機大学に入って良かった事”、“東京電機大学の電気電子工学科のメリットは？”、“電子光情報コースについて”、“授業について”、“アルバイトをする時間はあるか”、“入試の対策、勉強方法”、“就職率、就職先、就活支援について”、“この研究が就職先でどう役に立つか”、など真剣に質問してくれる方々に見学していただきありがとうございました。

2015年8月20日  
作成 T.K, T.S, K.M, K.I, T.U